

運動靴の白色規定に対する生徒会からの提案

文責:令和六年度生徒会

令和6年12月9日

先日,生徒会は学校長に対し,「運動靴に関する要望書」を提出した。

本資料では,当該要望書の概要及び本件に関する今後の構想を会員の皆様へ向けてまとめた。

1. 提案内容

生徒会は,現在の学校規則である「白の運動靴」という規定に対して,『運動靴の色に関する規定の見直し』を提案する。具体としては,「運動靴の色を自由にする,或いは白を基調としつつもアクセントカラーを認める」とする。

2. 提案の背景

提案の背景は以下の通りである。

I. 個性の尊重

本校は日々の活動や学びを通して,「個性の尊重」を重要視している。服装や持ち物は,学生の個性(好み)が反映されるものである。運動靴の色を見直すことは個性の尊重に繋がるだろう。これにより,日々の学校生活における悩みが軽減され,さらに自主的に取り組むきっかけになるだろう。

II. 学生の安全面・健康面

白い運動靴には,見た目に清潔感があり,汚れが目立つことで清潔を保つ意識が向上するという利点がある。一方で,白い靴は汚れが付きやすい。そのため,頻繁に洗う必要があり,負担である。また,頻繁な洗濯は運動靴の寿命が短くなる可能性があり,経済的な負担が増すことも懸念される。

III. 他校の事例

近年,高等学校や他県の中学校※実例として〇〇中学校においては運動靴の色について,「白以外の色」を許容するケースが増えている。その際,懸念される点として「校風や秩序の悪化」が挙げられるが,先述の学校では規定の変更前と比較しても悪化は見られないという。この前例を踏まえ,本校も柔軟に対応することで,学生に対してよりよい学校環境を提供できるのではないかと考える。

結びに

皆様も,校則とは学校生活を規律正しく豊かにするためにあることを十分理解していることだろうと思う。今回の要望も,規則を緩めてほしいということではなく,校則がより現代に即した形で学生の生活を支えてくれるようにと願っての提案である。我々生徒は,規則を緩める意義と,事の重大さを十二分に理解して,今後生活していかなければならないだろう。

令和六年度生徒会代表 3 年